

牛久：学校周辺に見る自然

第9号 ひたち野西近隣公園（ひたち野うしく小）

2013年6月17日発行

＜ 春の生きもの観察 ～みずべ公園 ⑤その他の動物 ＞

ひたち野うしく小4年生とのみずべ公園、春の生きもの観察、最終回の今回は、鳥やは虫類など①～④で紹介した以外の動物たちです。



右は、**ニホントカゲ**の幼体（ようにたい：子ども）。おとなは黄褐色おうかつしよくですが、子どもはご覧らんの通りで黒い体たてに縦すじ、尾は青く、金属おのような光沢こうたくがあります。すわってシロツメクサの観察をしていた時、追いかけて走り回っていましたが、パッと見失なげってしまいましたね。じつは学校に帰かえってから何気なくズボンの後ろポケットに手を入れたら…。その子がこの写真です。



長～いしっぽのカナヘビ。すばやく走って逃げました。

まずは、**カナヘビ**（ニホンカナヘビ）。5/16の3、4組さんたちの時には、草刈り後で雑草くさかの花やハチ、チョウなどがあまり見られませざっそうんでしたが、逆にカナヘビやトカゲなどはたくさん見つかりました。それにしても、長～いしっぽですね。体長の半分かそれ以上あるでしょうか。追いかけて、すばやく走って逃げていましたが、右上の写真ではちょうど体が宙に浮いています。



こちらも長いしっぽのニホントカゲの子ども。縦すじがあって、金属光沢の体、青い尾が特ちょう。

1週間前までまっ黒に見えた池のオタマジャクシのかたまりは、すっかりいなくなっていました。1匹だけ死んでしまった子ガエルがいました。**ヒキガエル**の子です。大きなカエルもいましたね。こちらは**ウシガエル**。ヒキガエルの子どもの死体（左）と、ウシガエル（右）。



シオカラトンボのヤゴ(左)と、アオモンイトトンボの若いメス(右)。24年度23号も参考に。

オタマジャクシの池では、**シオカラトンボ**のヤゴと**アオモンイトトンボ**のまだ未熟なメスも見つけてくれましたね。本当に、おおぜいの目で探すといろいろ見つけてくれるものだと思いますよ。ヤゴは慣れれば体全体の形や頭の形、背中のトゲなどでだいたいは見分けることができます。



大きなシラサギ、ダイサギ(左)と、上空を横切ったカワウ(右)。

最後に鳥の仲間。池には文字通り大きなシラサギ、**ダイサギ**が、獲物を見つけたのか抜き足差し足という感じで歩いていました。その上空を飛んでいったのはカワウ。



土をつついてエサを探すハクセキレイ(左)と、ムクドリ(中、虫をくわえた)、キジバト(右)。

草地では、地面をつつきながらエサを探す**ハクセキレイ**、**ムクドリ**、**キジバト**の姿が見られました。ムクドリは、見ている間に何かの幼虫ようちゆうを捕まえてくわえていました。



さえずるメジロ(左)と、求愛、交尾をするヒヨドリ(中)。これは何の卵かな？鳥？へび？(右)。

きれいなさえずりに見上げると、**メジロ**が。そしてやかましい鳴き声に見上げると**ヒヨドリ**がしきりに求愛、交尾きゆうあい こうびをしていました。見つけてくれた卵のからは、だれのかな？【理科支援員：宮内】